

服のリサイクル

日本の衣類廃棄量

現在、日本で廃棄されてしまっている衣類の量は、年間約100万トン。枚数になおすと33億着も捨てられてしまっています。その衣類の半分は、焼却処分されてしまっているのです。日本は衣類のリユース率の低さが指摘されています。



しかし、衣類は次のようなことに役立てることができます!

アパレル企業が取り組むリユース

アパレル企業の中で「衣類品引き取りキャンペーン」というリユースの活動に取り組んでいる企業があります。店頭で不要になった衣類品を回収して日本国外での再利用やリサイクルに役立てるといった活動です。

現在、「衣類品引き取りキャンペーン」に協力している店舗は、

洋服の青山、AOKI、ユニクロ、GU、H&M、無印良品、マルイ、イオンなど。



左の写真は、ユニクロのリサイクルボックスです。着れなくなった服や多少の汚れがついてしまった服でもユニクロ、GUの服ならこのボックスに入れることができます。

服をリメイク

着れなくなった服はリユースやリサイクル、それからリメイクするという方法があります。お気に入りの服を汚してしまってもリメイクすることで長く使うことができます。

リメイクの例

右の写真は、着れなくなった衣類で作ったマスクです。綿の生地で作ると暑い夏でも涼しく、快適です。それに、今はマスクが欠かせないので使い捨てのマスクよりも長く使える布マスクの方が環境にもいいです。



左の写真は、買ったけど使わず、しまったままになってしまった布や、ジーンズでも丈夫なエコバッグを作ることができます。お買い物に行ったとき、ビニール袋を買うよりも環境にいいし、柄があるとお買い物も楽しめます。

参考文献

FINE <<https://c-fine.jp/magazine/rename/>>

City Life News<<http://news.archive.citylife-new.com/interest/25641.html>>

Satis Factory<<https://www.sfinter.com/topics/post-711/>>

キナリノ<<https://kinarino.jp/cat6-ライフスタイル/40784-お裁縫が苦手な人でもok!簡単にできる洋服のプチリメイク方法>>

編集後記

最初、日本の衣類廃棄量が100万トンもあるということを知ってとても驚きました。自分も、服を買う機会が多くその分、服を捨てていました。けれど、服は、いろんなことに役立てることができるということが分かったのでこれからはリメイクしたり、縫い直して長く着れるようにするなど少しでも衣類の廃棄量を減らす活動を行いたいと思いました。